

# 子ども多文化共生センター通信 (テラたま通信)

## Multicultural Children's Center News

発行元 子ども多文化共生センター (Tel 0797-35-4537)

発行日 2017 (平成 29) 年3月30日 (木)

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>

新刊紹介号



## 新着図書紹介

### 日本語指導

#### ◆みんなの日本語シリーズ



- \*みんなの日本語 初級Ⅰ／初級Ⅱ第2版 翻訳・文法解説  
(英語版・イタリア語版・インドネシア語版・韓国語版・スペイン語版・タイ語版  
中国語版・ドイツ語版・フランス語版・ベトナム語版・ポルトガル語版・ロシア語版)  
※ロシア語版については初級Ⅰのみ
- \*みんなの日本語 初級Ⅰ・Ⅱ第2版 CD5枚セット
- \*みんなの日本語 初級Ⅰ・Ⅱ第2版 絵教材 CD-ROMブック

#### ◆日本語能力試験関係



- \*日本語能力試験 公式問題集 N1～N5
- \*日本語能力試験 ドリル N1～N5
- \*キクタン日本語 (聞いて覚える日本語単語帳)  
日本語能力試験 N2・N3 (英語・中国語・ベトナム語)

新年度にむけて  
どんどん活用して  
ください!



#### ◆毎日練習! リズムでみにつく日本語の発音 (CD付)

#### ◆ドラえものどこでも日本語

#### ◆がっこうのほんご 絵カード 200

#### ◆渡日生のための基本数学ドリル

#### ◆敬語と言葉のきまり 小学きっちりまとめノート (小学4年～中学入試)

### 絵本

#### ◆絵本「ボルネオでオランウータンに会う」



オランウータンはどんなところで暮らしているんだろう??  
小学校6年生のケンタは、ジャングル体験スクールでマレーシアのボルネオ島に向かいます。はたして彼は野生のオランウータンに会うことができるのでしょうか?



### マンガ

#### ◆マンガ「となりの席は外国人」シリーズ



言葉の壁も文化のギャップも、子どもには関係ナイ!!  
在日外国人児童が多い小学校で講師をしていた著者が、個性豊かな外国人親子が繰り広げる爆笑異文化コミュニケーションを、マンガでわかりやすく紹介しています。

### 国際理解



- ◆多文化共生政策へのアプローチ
- ◆「多文化共生」は可能か
- ◆多文化教育をデザインする

近藤 敦著  
馬淵 仁著  
松尾 知明著

## 教科書

### ◆教科書「タイ語算数」(小学校1～6年生)



筑波大学教育開発国際協力研究センターから寄贈していただいたタイ語の算数教科書です。  
小学校1～6年生までそろっています。

### ◆教科書「韓国・朝鮮語」1・3年生



神戸韓国教育院から寄贈していただいた韓国・朝鮮語の教科書です。

1年生：国語

3年生：国語・数学・科学



※センターのHPからもご覧いただけます。

## 神戸韓国教育院

韓国・朝鮮語の教科書を寄贈して下さった神戸韓国教育院は、日本の文部科学省にあたる大韓民国教育部の在外教育機関の1つです。日韓両国の教育文化交流活動のため、韓国語・テコンドー・韓国料理・チャンゴ演奏等の講師を無料で派遣していただけるので、直接依頼されてはいかがでしょうか。日本語での交渉が可能です。

〒653-0031 神戸市長田区西尻池町2-4-30-4階

TEL 078-643-3326

E-mail kobekankokukyoikuin@yahoo.co.jp

## Information

### ● 「平成29年度外国人県民対象日本語講座」

期 間 第1期：5月8日(月)～6月30日(金) 申込期間：4月3日(月)～4月12日(水)

第2期：10月12日(木)～12月8日(金) 申込期間：9月1日(金)～9月13日(水)

時 間 18:30～20:30

費 用 1期2000円

場 所 国際健康開発センター(IHDセンター)

対 象 生活に必要な日本語を勉強したい人 1クラス20人程度

◎ 詳しい内容や申し込み方法については、センターHPに掲載しています。

### ボランティアを利用した方の声

学校では、少数在籍のため孤立感を持っていた、外国にルーツがある子どもに安心感を持たせる居場所を提供することができた。(日本語教室)

人には言いにくいことを積極的に聞いてもらうことで、不安やストレスが解消されるなど、生活面の支えにもなっている。(高等学校教諭)

お互いの壁をなくし、東京オリンピックまでには、日本人が多く外国人のことを考えて助け合っていけるような状況にしていきたいです。(中学校生徒)

今年度最後のセンター通信となりました。1年間、多くの方々に、子ども多文化共生センターの活動を支えていただき、本当に感謝しております。お電話のみのご相談では、何かと至らない点があったかと思いますが、温かくご協力くださりありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

子ども多文化共生センター 堀内・安立

子ども多文化共生センター 芦屋市新浜町1-2 県立国際高等学校内

TEL: 0797-35-4537 FAX: 0797-35-4538 E-mail: mc-center@hyogo-c.ed.jp

ホームページから様々な情報を発信しています。http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/



外国人児童生徒の支援、子ども多文化共生教育に関わることなどについて、お気軽にご相談ください。